

新規採用医薬品 No. 133

2025年2月

一宮市立市民病院
薬剤局

【新規正規採用医薬品】

アウイクリ注フレックスタッチ総量 300 単位 ノボ ノルディスク ファーマ

組成：1キット (0.43mL) 中 インスリン イコデク (遺伝子組換え) 300 単位

効能・効果： インスリン療法が適応となる糖尿病

用法・用量： 通常、成人では、1週間に1回皮下注射する。初期は通常1回30～140単位とし、患者の状態に応じて適宜増減する。他のインスリン製剤を併用することがあるが、他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常1週間あたり30～560単位である。但し、必要により上記用量を超えて使用することがある。

1. 本剤は週1回投与で基礎インスリンの必要量を1週間にわたって安全に補充することを目的として開発された、世界初の週1回持続型溶解インスリンアナログ注射薬である。
2. 本剤はヒトインスリンのアミノ酸配列のうち、末端スレオニンの除去、3つのアミノ酸の置換および脂肪酸を含む側鎖の付加によって半減期の延長が可能となった製剤である。
3. 本剤は2025年11月末日まで上限投与日数14日が設けられている。
4. 本剤は2025年7月末日まで市販直後調査の対象である。
5. 本剤は糖尿病・内分泌内科限定採用薬である。
6. 薬価は 1キット 2,081 円。

ガザイバ点滴静注 1000mg

日本新薬

組成：1V (40mL) 中 オビヌツズマブ (遺伝子組換え) 1000mg

効能・効果： ○CD20 陽性の濾胞性リンパ腫

○CD20 陽性の慢性リンパ性白血病 (小リンパ球性リンパ腫を含む)

用法・用量： 〈CD20 陽性の濾胞性リンパ腫〉

通常、成人には、オビヌツズマブ (遺伝子組換え) として1日1回1000mgを点滴静注する。導入療法は、以下のサイクル期間及び投与サイクル数とし、1サイクル目は1、8、15日目、2サイクル目以降は1日目に投与する。維持療法では、単独投与により2ヵ月に1回、最長2年間、投与を繰り返す。

- シクロホスファミド水和物、ドキシソルビシン塩酸塩、ビンクリスチン硫酸塩及びプレドニゾロン又はメチルプレドニゾロン併用の場合
3週間を1サイクルとし、8サイクル
- シクロホスファミド水和物、ビンクリスチン硫酸塩及びプレドニゾロン又はメチルプレドニゾロン併用の場合
3週間を1サイクルとし、8サイクル
- ベンダムスチン塩酸塩併用の場合
4週間を1サイクルとし、6サイクル
〈CD20陽性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）〉
アカラブルチニブとの併用において、通常、成人には、オビヌツズマブ（遺伝子組換え）として、アカラブルチニブとの併用での1サイクル目の1日目に100mg、2日目に900mg、8日目及び15日目に1000mg、2サイクル目以降は1日目に1000mgを点滴静注する。28日間を1サイクルとし、最大で6サイクル投与を繰り返す。

1. 本剤は抗体改変技術（GlycoMab™）を用いてFc領域の糖鎖を改変して創製された、タイプIIのヒト化抗CD20モノクローナル抗体製剤である。
2. 本剤は直接的な細胞死の誘導が高いことに加え、糖鎖を改変したことで高い抗体依存性細胞傷害（ADCC）活性及び抗体依存性細胞貪食（ADCP）活性を示す製剤である。
3. 薬価は 1V 458,799 円。

ジクトルテープ 75mg

久光製薬

組成：1枚中 日局ジクロフェナクナトリウム 75mg

効能・効果：○各種がんにおける鎮痛

○腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎

用法・用量：〈各種がんにおける鎮痛〉

通常、成人に対し、1日1回、2枚（ジクロフェナクナトリウムとして150mg）を胸部、腹部、上腕部、背部、腰部又は大腿部に貼付し、1日（約24時間）毎に貼り替える。

なお、症状や状態により1日3枚（ジクロフェナクナトリウムとして225mg）に増量できる。

〈腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎〉

通常、成人に対し、1日1回、1枚（ジクロフェナクナトリウムとして75mg）又は2枚（ジクロフェナクナトリウムとして150mg）を胸部、腹部、上腕部、背部、腰部又は大腿部に貼付し、1日（約24時間）毎に貼り替える。

1. 本剤は1日1回の貼付で24時間安定した血漿中薬物濃度を維持し、痛みを持続的に抑える効果が期待できる世界で初めて承認されたNSAIDsの経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤である。
2. 本剤は腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎の効能

又は効果を有する外用剤として本邦初の全身性NSAIDs製剤である。

3. 本剤は経口剤の投与が困難な患者にも投与が可能な製剤である。
4. 本剤は患者の服薬状況が家族及び介護者にも目視で確認でき(貼付忘れや過剰投与の防止)、また食事による投与タイミングの制限がないことで服薬アドヒアランス向上が期待できる製剤である。
5. 本剤投与時は他の全身作用を期待する消炎鎮痛剤との併用は可能な限り避けることが望ましい製剤である。
6. 本剤は整形外科、緩和ケア科、歯科口腔外科限定採用薬である。
7. 薬価は 1枚 154.5 円。

フルミスト点鼻液

第一三共

組成：1本(0.2mL)中 弱毒生インフルエンザウイルス(A型・B型)1株当たり

7.0±0.5Log₁₀FFU

効能・効果：インフルエンザの予防

用法・用量：2歳以上19歳未満の者に、0.2mLを1回(各鼻腔内に0.1mLを1噴霧)、鼻腔内に噴霧する。

1. 本剤は日本で初めて承認された経鼻投与型の弱毒生インフルエンザワクチンであり、低温馴化(低温で効率良く増殖する)、温度感受性(B型株は37°C、A型株は39°Cで増殖しにくくなる)及び弱毒化(ヒトのインフルエンザ発症モデルであるフェレットでインフルエンザ様症状を引き起こさない)の3つの特徴を有するリアソータントウイルス株を鼻腔内に噴霧する点鼻液剤である。
2. 本剤は鼻腔内に噴霧するタイプのワクチンのため、針穿刺の必要がなく、注射部位反応もないことから、被接種者の心理的・身体的負担の軽減が期待できる製剤である。
3. 本剤は令和7年4月末日まで市販直後調査の対象である。
4. 薬価は なし。

ベオーバ錠 50mg

杏林製薬

組成：1錠中 ビベグロンとして 50mg

効能・効果：過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁

用法・用量：通常、成人にはビベグロンとして50mgを1日1回食後に経口投与する。

1. 本剤は β_3 アドレナリン受容体を選択的に刺激し、膀胱平滑筋弛緩作用により膀胱容量を増大させる製剤である。
2. 本剤はCYP酵素に対する阻害作用、誘導作用を示さないことから、薬物相互作用が少ない製剤である。
3. 薬価は 1錠 152.7 円。

ポプスカイン 0.5% 50mg/10mL

丸石製薬

組成：1mL 中 レボブピバカイン塩酸塩 5.63mg（レボブピバカインとして 5.0mg）

効能・効果： 伝達麻酔

用法・用量： 通常、成人に1回 30mL（レボブピバカインとして 150mg）までを目標の神経あるいは神経叢近傍に投与する。複数の神経ブロックを必要とする場合でも、総量として 30mL（レボブピバカインとして 150mg）を超えないこと。

なお、期待する痛覚遮断域、手術部位、年齢、身長、体重、全身状態等により適宜減量する。

1. 本剤はブピバカインの S(-) - 体であるレボブピバカインを有効成分とするアミド型の長時間作用性局所麻酔剤である。
2. 本剤はブピバカインの R(-) - 体であるデクスブピバカインよりも心血管系への作用が低いとされるポリエチレン製のアンプル製剤である。
3. 薬価は 1管 443 円。

メトジェクト皮下注 10mg ペン 0.20mL

エーザイ

組成：1キット中 メトトレキサート 10mg

効能・効果： 関節リウマチ

用法・用量： 通常、成人にはメトトレキサートとして 7.5mg を週に1回皮下注射する。なお、患者の状態、忍容性等に応じて適宜増量できるが、15mg を超えないこと。

1. 本剤は関節リウマチを効能又は効果とした国内初の週1回の皮下投与メトトレキサート（MTX）製剤である。
2. 本剤は医師の管理・指導のもと自己注射が可能な製剤である。
3. 本剤はペン型自動注入器にメトジェクト皮下注シリンジを内蔵（バックストップ及び押子を除く）した注射剤で、皮膚に押し当てることで投与ができ、また、投与後に針カバーが自動的にロックされる製剤である。
4. 本剤は整形外科、膠原病内科限定採用薬である。
5. 薬価は 1キット 2,310 円。

リツキサン点滴静注 100mg・500mg

中外製薬

組成：1バイアル中 リツキシマブ（遺伝子組換え）100mg・500mg

効能・効果：○CD20 陽性の B 細胞性非ホジキンリンパ腫

○CD20 陽性の慢性リンパ性白血病

○免疫抑制状態下の CD20 陽性の B 細胞性リンパ増殖性疾患

○多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎

○既存治療で効果不十分なループス腎炎

○難治性のネフローゼ症候群

(頻回再発型、ステロイド依存性あるいはステロイド抵抗性を示す場合)

- 慢性特発性血小板減少性紫斑病
- 後天性血栓性血小板減少性紫斑病
- 全身性強皮症
- 難治性の尋常性天疱瘡及び落葉状天疱瘡
- 視神経脊髄炎スペクトラム障害(視神経脊髄炎を含む)の再発予防
- 下記の臓器移植における抗体関連型拒絶反応の抑制
腎移植、肝移植、心移植、肺移植、膵移植、小腸移植
- 下記の臓器移植における抗体関連型拒絶反応の治療
腎移植、肝移植、心移植、肺移植、膵移植、小腸移植
- インジウム(111In)イブリツモマブ チウキセタン(遺伝子組換え)注射液
及びイットリウム(90Y)イブリツモマブ チウキセタン(遺伝子組換え)
注射液投与の前投与

用法・用量： 〈B細胞性非ホジキンリンパ腫〉

通常、成人には、リツキシマブ(遺伝子組換え)として1回量 375mg/m²を1週間間隔で点滴静注する。最大投与回数は8回とする。他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合は、併用する抗悪性腫瘍剤の投与間隔に合わせて、1サイクルあたり1回投与する。維持療法に用いる場合は、通常、成人には、リツキシマブ(遺伝子組換え)として1回量 375mg/m²を点滴静注する。投与間隔は8週間を目安とし、最大投与回数は12回とする。

〈慢性リンパ性白血病〉

他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人には、リツキシマブ(遺伝子組換え)として初回に1回量 375mg/m²、2回目以降は1回量 500mg/m²を、併用する抗悪性腫瘍剤の投与サイクルに合わせて、1サイクルあたり1回点滴静注する。最大投与回数は6回とする。

〈免疫抑制状態下のB細胞性リンパ増殖性疾患〉

通常、リツキシマブ(遺伝子組換え)として1回量 375mg/m²を1週間間隔で点滴静注する。最大投与回数は8回とする。

〈多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎、後天性血栓性血小板減少性紫斑病、全身性強皮症〉

通常、成人には、リツキシマブ(遺伝子組換え)として1回量 375mg/m²を1週間間隔で4回点滴静注する。

〈既存治療で効果不十分なループス腎炎、慢性特発性血小板減少性紫斑病〉

通常、リツキシマブ(遺伝子組換え)として1回量 375mg/m²を1週間間隔で4回点滴静注する。

〈難治性のネフローゼ症候群〉

通常、リツキシマブ(遺伝子組換え)として1回量 375mg/m²を1週間間隔で4回点滴静注する。ただし、1回あたりの最大投与量は500mgまでとする。

〈難治性の尋常性天疱瘡及び落葉状天疱瘡〉

通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）として1回量 1,000mg/body を2週間間隔で2回点滴静注する。

〈視神経脊髄炎スペクトラム障害の再発予防〉

通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）として1回量 375mg/m²を1週間間隔で4回点滴静注する。その後、初回投与から6ヵ月毎に1回量 1,000mg/body（固定用量）を2週間間隔で2回点滴静注する。

〈臓器移植時の抗体関連型拒絶反応の抑制及び治療〉

通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）として1回量 375mg/m²を点滴静注する。ただし、患者の状態により適宜減量する。

〈イブリツモマブ チウキセタンの前投与〉

通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）として250mg/m²を1回、点滴静注する。

1. リツキシマブ BS 点滴静注「KHK」100mg・500mg は既採用。
2. 本剤は既採用のバイオ後続品であるリツキシマブ BS 点滴静注の効能・効果に加え下記の効能・効果を有する製剤である。

〈リツキサン点滴静注固有の適応症〉

○CD20 陽性の慢性リンパ性白血病

○難治性のネフローゼ症候群

（頻回再発型、ステロイド依存性あるいはステロイド抵抗性を示す場合）

○全身性強皮症

○難治性の尋常性天疱瘡及び落葉状天疱瘡

○視神経脊髄炎スペクトラム障害（視神経脊髄炎を含む）の再発予防

○下記の臓器移植における抗体関連型拒絶反応の抑制

腎移植、肝移植、心移植、肺移植、膵移植、小腸移植

○下記の臓器移植における抗体関連型拒絶反応の治療

腎移植、肝移植、心移植、肺移植、膵移植、小腸移植

3. 本剤の使用は上記適応のみに限る。
4. 薬価は 100mg 1V 19,109 円、500mg 1V 94,007 円。

【正規採用規格追加医薬品】

オフエブカプセル 100mg

日本ベーリンガーインゲルハイム

1. オフエブカプセル 150mg は正規採用。
2. 薬価は 1Cp 3,982.4 円。

テリルジー200 エリプタ 30 吸入用

グラクソ・スミスクライン

1. テリルジー100 エリプタ 30 吸入用は正規採用。
2. 薬価は 1キット 10,043.3 円。

マンジャロ皮下注 7.5mg アテオス

田辺三菱製薬

1. マンジャロ皮下注 2.5mg は正規採用、マンジャロ皮下注 5mg 院外専用採用。
2. 本剤は糖尿病・内分泌内科、腎臓内科限定採用薬である。
3. 薬価は 1キット 5,772 円。

ミニリンメルト 0D 錠 60 μ g

キッセイ薬品工業

1. ミニリンメルト 0D 錠 120 μ g は院外専用採用。
2. 薬価は 1錠 75.7 円。

【正規採用製造中止等に伴う切り替え医薬品】

パクリタキセル注 30mg/5mL・100mg/16.7mL 「NK」

日本化薬

1. 本剤はパクリタキセル注射液「サワイ」150mg からの切り替えである。
2. 薬価は 30mg 1V 1,652 円、100mg 1V 5,241 円。

【院外専用採用医薬品】

ソーティクツ錠 6mg

ブリストル・マイヤーズ スクイブ

組成：1錠中 デュークラバシチニブ 6mg

効能・効果：既存治療で効果不十分な下記疾患

尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症

用法・用量：通常、成人にはデュークラバシチニブとして1回6mgを1日1回経口投与する。

1. 本剤は既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症に対する効能又は効果を有する世界初の経口チロシンキナーゼ2 (TYK2) 阻害剤である。
2. 本剤はTYK2のキナーゼドメインの触媒部位ではなく、機能制御部位であるシュードキナーゼドメイン (偽キナーゼドメイン) に結合し、分子内相互作用により立体構造を変化させ、ATPの触媒部位への結合を妨げることで酵素活性を阻害する (アロステリック阻害) 製剤である。
3. 本剤は皮膚科限定採用薬である。
4. 薬価は 1錠 2,533.4 円。

ブイタマークリーム1%

鳥居薬品

組成:1g 中 タピナロフ 10mg

効能・効果： ○アトピー性皮膚炎
○尋常性乾癬

用法・用量： 〈アトピー性皮膚炎〉

通常、成人及び12歳以上の小児には、1日1回、適量を患部に塗布する。

〈尋常性乾癬〉

通常、成人には、1日1回、適量を患部に塗布する。

1. 本剤は非ステロイド性低分子の芳香族炭化水素受容体調節薬 [therapeutic AhR modulating agent: TAMA] であり、リガンド依存的な転写因子であるAhRの活性化を介して、炎症性サイトカインの産生を抑制する製剤である。
2. 本剤はNrf2 (Nuclear factor erythroid 2-related factor 2) 経路を活性化させ、抗酸化分子の遺伝子発現を誘導するとともに、皮膚バリア機能関連分子の遺伝子発現を誘導する製剤である。
3. 本剤は既存薬とは異なる作用機序を有するアトピー性皮膚炎及び尋常性乾癬の新規治療薬である。
4. 本剤は2025年8月末日まで上限投与日数14日が設けられている。
5. 本剤は2025年4月末日まで市販直後調査の対象である。
6. 本剤は皮膚科限定採用薬である。
7. 薬価は 1g 300.8 円。

【正規採用から院外専用採用への

切り替え医薬品】

MS 温シップ「タイホウ」

帝國製薬

1. 薬価は 100g 86 円。

【正規採用削除医薬品】

イミフィンジ点滴静注 120mg

アストラゼネカ

ウロマチック S 泌尿器科用灌流液 3%

バクスター・ジャパン

MS 温シップ「タイホウ」

帝國製薬

ジクロフェナクナトリウムテープ 15mg「三和」

三和化学研究所

<u>ストレプトマイシン硫酸塩注射用 1g「明治」</u>	Meiji Seika ファルマ
<u>ダイアニール-N PD-2 2.5 腹膜透析液システムⅡ シングルバッグ 2.5L</u>	ヴァンティブ
<u>ダイアニール-N PD-2 2.5 腹膜透析液システムⅡ シングルバッグ 5L</u>	ヴァンティブ
<u>タルセバ錠 150mg</u>	中外製薬
<u>注射用フィルデシン 3mg</u>	日医工
<u>ツムラ桂枝加芍薬湯エキス顆粒（医療用）</u>	ツムラ
<u>デスモプレシン・スプレー10 協和</u>	キッセイ薬品工業
<u>パクリタキセル注射液 150mg「サワイ」</u>	沢井製薬
<u>レベミル注フレックスペン</u>	ノボ ノルディスク ファーマ

【院外採用削除医薬品】

<u>ルリコン液 1%</u>	サンファーマ
-----------------	--------